

令和8年3月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較(C-B)	F 対前年比較(D-B)
1 調定件数	件	29,732	360,493	361,100	361,771	△ 607	△ 1,278
2 調定水量	m ³	520,712	7,092,207	7,132,200	7,244,629	△ 39,993	△ 152,422
3 調定料金(税抜)	円	165,528,288	2,188,529,490	2,198,000,000	2,219,268,635	△ 9,470,510	△ 30,739,145
4 口振加入件数	件	24,217	294,158	-	296,036	-	△ 1,878

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較(C-B)	F 対前年比較(D-B)
5 調定件数	件	19,422	233,212	233,500	231,453	△ 288	1,759
6 調定水量	m ³	341,022	4,542,290	4,578,710	4,576,447	△ 36,420	△ 34,157
7 調定料金(税抜)	円	72,480,549	952,967,080	970,680,000	903,822,770	△ 17,712,920	49,144,310

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	71,145	-	72,532	△ 1,387
9 給水件数	件	29,823	-	29,921	△ 98
10 開栓処理件数	件	439	2,560	2,666	△ 106
11 閉栓処理件数	件	247	2,640	2,735	△ 95
12 給水工事設計審査	件	30	373	367	6
13 給水工事竣工検査	件	58	461	548	△ 87
14 経年メーター交換	件	14	4,403	4,422	△ 19
15 メーター口径変更	件	2	38	34	4
16 督促状発送数	件	1,411	17,028	17,072	△ 44
17 月末停止件数	件	150	-	123	27

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	22	224	239	△ 15
19 排水設備工事完了検査	件	23	215	261	△ 46

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
20 当年度分	194,099,986円	91.94%	196,505,304円	91.95%	△0.01%
21 過年度分	2,390,004円	98.79%	2,303,798円	98.88%	△0.09%
22 計	196,489,990円	-	198,809,102円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
23 当年度分	98,465,417円	90.61%	101,341,030円	89.81%	0.80%
24 過年度分	755,658円	99.22%	582,682円	99.37%	△0.15%
25 計	99,221,075円	-	101,923,712円	-	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
26 当年度分	451,730円	97.64%	403,000円	98.66%	△1.02%
27 過年度分	1,013,600円	20.57%	953,700円	26.01%	△5.44%
28 計	1,465,330円	-	1,356,700円	-	-

特 記 事 項

1. 3月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

【水道事業】

ア 収益的収支

当期の給水収益は182,081千円(税込)となり、前月期に比べて12,638千円の減、対前年同月比で2,379千円の減となっています。営業収益は182,587千円、営業外収益は退職給付引当金戻入益や事務手数料などで49,372千円を執行しました。当期の営業費用は原水及び浄水費や配水費などで242,806千円、営業外費用では、企業債利息として47,577千円、特別損失として臨時損失50千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事完成に伴う企業債の借入や他会計出資金などで921,578千円の執行となりました。支出では、建設改良費として工事請負費や機器整備費などで1,482,204千円、企業債償還金として247,951千円を執行しました。

【下水道事業】

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は79,560千円(税込)となり、前月期に比べて6,439千円の減、対前年同月比で217千円の増となっています。営業収益は79,604千円、営業外収益は長期前受金戻入や他会計補助金などで1,296,160千円を執行しました。

当期の営業費用は減価償却費や処理場費などで2,445,722千円、営業外費用は企業債利息として86,122千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事完成に伴う企業債等の借入や国庫補助金などで656,290千円の執行となりました。支出では、建設改良費として工事請負費や調査設計費などで44,071千円、企業債償還金として708,085千円、基金積立金として1,137千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 2月定期議会及び3月特別議会

3月12日(木)に開催された令和8年登米市議会定例会2月定期議会について、令和8年度水道事業会計予算及び下水道事業会計予算が原案のとおり可決されました。

また、同月25日(水)には、令和8年登米市議会定例会3月特別議会が開催され、令和7年度水道事業会計補正予算及び令和8年度水道事業補正予算を上程しました。

令和7年度補正予算については、漏水修理に伴う排水作業に係る賠償金の補正及び事業確定見込みによる補正、令和8年度補正予算については、水質検査共同化支援業務に係る補正であり、審議の結果、原案のとおり可決されました。

(2) 上下水道事業運営審議会を開催

第4回登米市上下水道事業運営審議会が3月13日(金)に開催され、登米市上下水道事業ビジョンの策定について審議を行いました。上下水道事業ビジョンの策定については、令和7年7月14日に市長から諮問され、4回にわたり審議を重ねてきました。審議の結果、登米市上下水道事業ビジョンの策定内容は、妥当と判断されました。

同月16日(月)には、登米市上下水道事業運営審議会(会長 山田一裕 東北工業大学教授)から市長に対して答申書が手渡されました。



【答申書手交の様子】

令和8年3月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	781,859	9,722,601	9,395,540	9,870,633	327,061	△ 148,032
総配水量	729,068	9,027,677	8,740,040	9,185,150	287,637	△ 157,473
1 有効水量	565,536	7,590,125	7,584,140	7,754,216	5,985	△ 164,091
(1) 有収水量	525,152	7,145,634	7,186,200	7,297,964	△ 40,566	△ 152,330
(2) 無収水量	40,384	444,491	397,940	456,252	46,551	△ 11,761
2 無効水量	163,532	1,437,552	1,155,900	1,430,934	281,652	6,618
(1) 漏水量	162,441	1,431,905	1,148,400	1,425,252	283,505	6,653
(2) その他無効水量	1,091	5,647	7,500	5,682	△ 1,853	△ 35
3 有収率	72.03%	79.15%	82.22%	79.45%	△ 3.07%	△ 0.30%

※ 当月期の最大配水量は、3月11日(水)に記録した【24,341m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	5	1,492,988	2	6,877	3	1,270,879	215,232	85.6%
配給水施設整備事業	35	808,276	7	367,207	28	354,591	86,478	89.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託(事務費・人件費含む。)の合計です。

特記事項

1 外部評価委員会の開催

3月18日(水)に令和7年度事業に係る外部評価委員会を開催しました。当該委員会は、浄水及び配水の包括的委託業務における受託者の業務内容、執行状況等に関し第三者の視点から調査検討・評価を行うものであり、今までは事業年度の翌年度に開催していましたが、令和7年度は現委託契約の最終年度となるため、今年度12月までの実績に対する評価に加え、5年間の委託期間を通じた総括的な評価も行われました。

また、両委託業務において現在受託している企業体が引き続き業務を担うことから、委員からは次期委託期間において期待される取組や助言などについて発言がありました。



【審議の様子】

2 国土交通省が所管する検討委員会への参加

本格的な人口減少社会を迎える中、中山間地、過疎地等においては従来型の施設の維持が困難となる場合があり、このような地域における運搬送水、小規模水道施設等の分散型システムの導入について検討が進められているところですが、その方法論については十分示されていない状況となっています。このことから、水道事業において分散型システムを導入する手法及びその手引きの策定について検討するため、国土交通省において『「水道事業における分散型システムの導入手引き」検討委員会』が設置されました。

当該委員会には大学教授等専門的知見を有する者に加え、これらの課題を抱える自治体の職員も委員に選出されており、本市からも水道施設課長が委員として参加し、令和8年1月から3月までの間に3回の会議が開催されています。当該委員会での審議を踏まえ、今後手引きが示される予定となっています。

◎ 漏水調査結果(累計)

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	74	140.060
	付属施設	0	0.000
	給水装置	133	92.820
	計	207	232.880

【漏水調査結果: 3月】

- 推定漏水量 6.140m³/h
- 推定効果額 約1,437千円
- 推定効果額算定
 - ・R6年度給水原価 314.48円
 - ・3月推定漏水量 6.140m³/h
 - ・6.140m³/h×24h×31日×314.48円

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)	備考
				対前年度 (B)-(C)	
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	227,516.00	2,817,727	2,905,749	△88,022	1処理場
特定環境保全公共下水道	50,256.30	618,141	626,980	△8,839	3処理場
米谷・錦織処理区	9,404.00	119,338	131,528	△12,190	
豊里処理区	29,781.00	357,010	359,783	△2,773	
津山処理区	11,071.30	141,793	135,669	6,124	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	10,288.00	134,918	139,951	△5,033	
農業集落排水	95,551.20	1,264,934	1,285,734	△20,800	24処理場
迫地区	7,433.90	95,309	96,550	△1,240	
東和地区	2,592.20	31,369	33,026	△1,657	
中田地区	27,422.30	360,300	371,895	△11,595	
豊里地区	1,475.90	22,374	23,005	△631	
米山地区	38,227.70	525,288	535,345	△10,057	
南方地区	18,399.20	230,293	225,913	4,380	R7.4.1時点
浄化槽(特・個排)	39,364.00	528,096	524,381	3,715	2,204基
合計	422,975.50	5,363,816	5,482,795	△118,979	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	8	575,958	6	472,034	2	27,840	76,084	86.8%
処理施設整備事業	90	502,839	9	359,048	53	111,774	32,017	93.6%

※金額は、工事+委託(事務費・人件費含む)の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

※ポンプ施設整備事業については、令和7年度の予算計上が無いので状況報告から除く。

特記事項

1 雨水出水浸水想定区域図の作成が完了

3月期に雨水出水浸水想定区域図の作成が完了しました。この図面は、昨年、頻発しているゲリラ豪雨などの影響により、水害リスク情報の提供を行っていない空白域において多くの浸水被害が発生していることから、浸水するおそれがある区域を公表し、水害リスク情報の空白域の解消などを目的として作成したものです。今後、水防法第14条の2第1項に基づき区域の指定を行い、同法第14条の2第3項の規定に基づき公表する予定としております。



【ポンプ修繕の状況】

2 マンホールポンプの引上げ点検を実施

3月期に登米町の八丁田待井マンホールポンプ場において、ポンプ故障警報が発生しました。緊急で引上げ点検を行い不織布などの異物の除去を実施しポンプが正常に稼働したことを確認しました。今後も安全・安心を確保するよう、適切な維持管理を行うとともに下水道施設に異物を流さないよう周知してまいります。

○浄化槽整備事業受付状況 (3月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	53	—

※令和7年度の申請受付は、11月末で終了しました。